

1 基本項目	事務事業名	森林総合研究所分収造林事業			担当部署	課名	農林水産課		
	予算事業名	森林総合研究所分収造林事業				係名	業務林政係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036			
	事業期間	開始年度	平成5年度以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				算科目目	款	農林水産業費
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興					項	林業費
		施策名	5 林業の振興					目	造林事業費
基本事業名		5-1 林業生産基盤の整備強化				アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	森林総合研究所が森林資源の確保と国土の保全を目的として実施する水源林造成事業(分収造林)の契約者(造林者)として、市内4箇所(平沢、島尻、三ヶ、別又)、計140.34haにおいて育林を実施している。費用は森林総合研究所が負担し、収益は契約に基づき分収する。
	対象	森林総合研究所と分収契約している森林
	手段(活動指標)	新川森林組合に委託し、保育間伐等の施業を実施する。
意図(成果指標)	森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 施業実施面積	ha	17	13	0	0		
	② 作業路の新設修繕	m	600	950	320	500	156.3%	220
	③ 生物害防除	ha	0	0	0	17		0
	① 育成率	%	17.1	17.1	17.0	17.0	100.0%	17.0
	② 工事施工延長/必要工事施工箇所	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	66,000	66,000	79,000	60,000	-9.1%	60,000
	② 委託料	円	2,415,000	2,327,850	2,897,000	2,197,800	-5.6%	2,434,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	34,000	33,216				
	支出合計(A)	円	2,515,000	2,427,066	2,976,000	2,257,800	-7.0%	2,494,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	2,515,000	2,427,066	2,976,000	2,257,800	-7.0%	2,494,000
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	2,515,000	2,427,066	2,976,000	2,257,800	-7.0%	2,494,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	140	140	140	140	0.0%	140
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	588,000	0.0%	588,000
	総費用(A+B)	円	3,103,000	3,015,066	3,564,000	2,845,800	-5.6%	3,082,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	分収造林事業(施業は新川森林組合へ委託)	
	生物害防除 1件 (クマによる樹皮剥ぎ被害が発生したため、これを防ぐ)	歩道新設 1件

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成するための事業であり、妥当である	A	A	
				目的の妥当性	1 妥当である				森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成するための事業であり、妥当である
				対象の妥当性	1 妥当である				森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成するための事業であり、妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	森林施業を計画的に実施できている	A	A	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない			
				上位施策への貢献度	1 高い	森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成が図られるため、貢献度は高い			
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	森林総合研究所からの受託費で実施しているため、コスト効率は高い	B	A	
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に委託しており適正である			
				負担割合の適正化	1 適正である	森林総合研究所からの受託費で実施しており、妥当である			
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	後の方針) 評価結果	林野庁所管の研究機関である「森林総合研究所」が所有する分収造林地における定額補助事業である。同機関が実施する様々な研究等は、本市林業の振興にも寄与するものであり引き続き実施することが必要である。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	市行造林事業			担当部署	課名	農林水産課		
	予算事業名	市行造林事業				係名	業務林政係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036			
	事業期間	開始年度	平成5年度以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				算科目目	款	農林水産業費
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興					項	林業費
		施策名	5 林業の振興					目	造林事業費
基本事業名		5-1 林業生産基盤の整備強化				アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	魚津市が管理する森林について保育・間伐等やそれに付随する作業を行う。	
	対象	森林所有者と分収契約している森林	
	手段 (活動指標)	以下の施策を実施する。 室田 間伐1.0ha	
	意図 (成果指標)	森林整備の実施により、市有林内資源の質的向上を目指し、基本財産の造成と森林の公益的機能の維持増進を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 施業実施面積	ha	1.0	1.0	1.0
成果指標	②							
	③							
	① 育成率	%	2.1	2.1	2.1	2.0	95.2%	2.0
②								
③								

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	①需用費	円			
②委託料	円	458,000		456,570	458,000	457,730	0.3%	458,000
③工事請負費	円							
④負担金補助及び交付金	円							
⑤その他	円							
支出合計 (A)		円	458,000	456,570	458,000	457,730	0.3%	458,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	458,000	456,570	458,000	457,730	0.3%	458,000
収入合計		円	458,000	456,570	458,000	457,730	0.3%	458,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	140	140	140	80	-42.9%	80
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	336,000	-42.9%	336,000
総費用(A+B)		円	1,046,000	1,044,570	1,046,000	793,730	-24.0%	794,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	分収造林事業(施業は新川森林組合へ委託)	
	間伐 1.0ha	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
						妥当性	A	A
有効性	A	A	目的の妥当性	1 妥当である	魚津市が管理する森林について保育・間伐等を行う事業であり、妥当である			
			対象の妥当性	1 妥当である	魚津市が管理する森林について保育・間伐等を行う事業であり、妥当である			
			目標達成度	2 目標どおり	魚津市が管理する森林の保育・間伐が適正に実施できている			
効率性	B	A	類似事業の有無	1 なし	類似事業はない			
			上位施策への貢献度	1 高い	魚津市が管理する森林資源活用に努めることで、林業の振興を図っており、貢献度は高い			
			コスト効率	1 高い	県単価を使用している			
1次評価 (課長総括)	A	A	実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に委託しており適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である	魚津市が管理する森林の保育・間伐等を行う事業であり、妥当である			
			計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
後の方針)	評価結果	市行造林を適切に管理することは、市の責務である。また、森林の適正管理は、森林の持つ公益的機能、多面的機能の維持、保全のためにも必要である。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	間伐促進事業			担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	間伐促進事業				係名	業務林政係			
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036				
	事業期間	開始年度	昭和57年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計			
	総合計画	目標名	基本目標1 にぎわい、活力あるまち					科目目	款	農林水産業費
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興						項	林業費
		施策名	5 林業の振興						目	造林事業費
基本事業名		5-1 林業生産基盤の整備強化					アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令						総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	間伐、保育等の施業を長期的な観点に立って計画的、かつ、適切に行い、森林資源の充実、県民の要請に応えた公益的機能の発揮に資するための事業である。	
	対象	市内民有林	
	手段 (活動指標)	新川森林組合が行う施業に対し補助金を交付する。	
	意図 (成果指標)	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 補助対象面積	ha	20.0	20.0	20.0	29.3	146.5%	30.0	
	②								
	③								
	成果指標	① 間伐実施面積(H14~)	ha	231	231	251	260	103.6%	290
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	1,969,000	1,870,200	2,500,000	2,499,645	33.7%	3,000,000
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	1,969,000	1,870,200	2,500,000	2,499,645	33.7%	3,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,969,000	1,870,200	2,500,000	2,499,645	33.7%	3,000,000
	収入合計	円	1,969,000	1,870,200	2,500,000	2,499,645	33.7%	3,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	140	140	140	80	-42.9%	80
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	336,000	-42.9%	336,000
	総費用(A+B)	円	2,557,000	2,458,200	3,088,000	2,835,645	15.4%	3,336,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	新川森林組合へ補助金を交付。 間伐 2.9ha	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である	
目的の妥当性					1 妥当である	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である		
対象の妥当性					1 妥当である	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	森林施業を計画的に実施できている		
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない		
				上位施策への貢献度	1 高い	森林資源の充実、県民の要請に応えた公益的機能の発揮に資するため、貢献度は高い		
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	県単価を使用している		
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に補助しており適正である		
				負担割合の適正化	1 適正である	県、市で負担しており適正である		
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当	2次評価	不要		
	後の方針 (評価結果)	林業経営環境が厳しい現状にあっては、所有者による適切な管理を実施することが困難な状況にある。森林の公益的機能を維持、保全するためにも国等と連携した事業を実施する必要がある。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	森林整備地域活動支援交付金事業				係名	業務林政係			
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036				
	事業期間	開始年度	平成19年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計			
	総合計画	目標名	基本目標1 にぎわい、活力あるまち					科目目	款	農林水産業費
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興						項	林業費
		施策名	5 林業の振興						目	造林事業費
基本事業名		5-1 林業生産基盤の整備強化					アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令						総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	一体的なまとまりのある森林で効率的な森林整備を行うための、森林経営計画作成や施業地集約化の促進、作業路網の修繕等を支援するもの。
	対象	市内民有林
	手段 (活動指標)	新川森林組合が行う活動に対し補助金を交付する。
意図 (成果指標)	森林施業が十分に行われていない人工林を、森林の有する多面的な機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 森林経営計画作成促進面積	ha	125.0	125.0	140.0	460.9	329.2%	476.5
	② 施業集約化の促進面積	ha	20	20	0	0		0
	③ 作業路修繕箇所	箇所	2	0	4	4	100.0%	3
	① 森林経営計画策定面積	ha	125.0	125.0	140.0	172.3	123.1%	120.0
	② 修繕箇所/修繕必要箇所	箇所	100	100	100	100	100.0%	100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	40,000	40,000	200,000	200,000	400.0%	180,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	4,640,000	1,600,000	10,956,000	6,755,000	322.2%	5,555,600
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	4,680,000	1,640,000	11,156,000	6,955,000	324.1%	5,735,600
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	4,260,000	1,220,000	9,566,000	5,795,000	375.0%	5,061,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	420,000	420,000	1,590,000	1,160,000	176.2%	675,000
	収入合計	円	4,680,000	1,640,000	11,156,000	6,955,000	324.1%	5,736,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	140	140	140	140	0.0%	140
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	588,000	0.0%	588,000
	総費用(A+B)	円	5,268,000	2,228,000	11,744,000	7,543,000	238.6%	6,323,600

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	新川森林組合へ補助金を交付。 森林経営計画作成促進 4地区 森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備	4地区

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	森林の有する多面的な機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図るための支援であり妥当である			
				目的の妥当性	1 妥当である				
				対象の妥当性	1 妥当である				
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	森林経営計画作成促進や作業路の修繕が適正に実施されている			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない			
				上位施策への貢献度	1 高い	森林の有する多面的な機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進を図っており妥当である			
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	国で定められた単価を使用している			
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に補助しており適正である			
				負担割合の適正化	1 適正である	県、市で負担しており適正である			
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当		2次評価	不要		
	後の方針 (評価結果)	林業経営環境が厳しい現状にあっては、所有者による適切な管理を実施することが困難な状況にある。森林の公益的機能を維持、保全するためにも国等と連携した事業を実施する必要がある。				評価結果			

補助金

平成 26年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	森林境界明確化支援事業		担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	森林境界明確化支援事業			係名	業務林政係			
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1036				
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	当面継続	予會計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち				算科目	款	農林水産業費
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興					項	林業費
		施策名	5 林業の振興					目	造林事業費
基本事業名		5-1 林業生産基盤の整備強化				アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	森林の施業・経営の受託等の促進による地域の森林管理の円滑な推進のため、市町村が国土調査に先行して、森林境界の明確化のための調査・測量を実施し、その管理簿を作成するもの。
	対象	市内民有林
	手段 (活動指標)	新川森林組合が行う施業に対し補助金を交付する。
	意図 (成果指標)	森林の境界を明確化することで、適正な森林管理の円滑な実施を図る。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 事業実施面積	ha	28.0	28.0	30.0	30.5	101.7%	25.0	
	②								
	③								
	成果指標	① 事業実施後、森林施業を実施した面積	ha	130	130	160	195	121.9%	220
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	1,260,000	1,260,000	1,350,000	1,350,000	7.1%	1,125,000
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	1,260,000	1,260,000	1,350,000	1,350,000	7.1%	1,125,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	1,260,000	1,260,000	1,350,000	1,350,000	7.1%	1,125,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	1,260,000	1,260,000	1,350,000	1,350,000	7.1%	1,125,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	140	140	140	80	-42.9%	80
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	588,000	588,000	588,000	336,000	-42.9%	336,000
	総費用 (A+B)	円	1,848,000	1,848,000	1,938,000	1,686,000	-8.8%	1,461,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	新川森林組合へ補助金を交付。 森林境界の明確化作業 31ha	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	森林境界の明確化による森林管理の円滑な実施のために行う事業であり、妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	森林境界の明確化による森林管理の円滑な実施のために行う事業であり、妥当である	
対象の妥当性					1 妥当である	森林境界の明確化による森林管理の円滑な実施のために行う事業であり、妥当である	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	順調に森林境界明確化した森林が増加している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない	
				上位施策への貢献度	1 高い	森林境界の明確化による森林管理の円滑な実施することで、林業の振興を図っており、貢献度は高い	
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	県単価を使用している	
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に補助しており適正である	
				負担割合の適正化	1 適正である	県からの補助であり、適正である	
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当		2次評価	不要
	後の方針 (評価結果)	林業経営環境の厳しい現状、森林所有者の高齢化、不在化等によって、所有者や境界の把握が困難な状況にある。森林を適切に維持、管理する上で、所有者や境界等の基本的事項を明確にしておく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	県単独森林整備事業			担当部署	課名	農林水産課
	予算事業名	県単独森林整備事業				係名	業務林政係
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036	
	事業期間	開始年度	平成8年度	終了年度	当面継続	予會計	一般会計
	目標名	共通目標 2 自立する自治体経営					
	政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興					
	施策名	5 林業の振興					
基本事業名	5-1 林業生産基盤の整備強化			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	間伐、保育等の施業を長期的な観点に立って計画的、かつ、適切に行うことが必要であることから、国庫補助対象とならない森林整備を行い、森林資源の充実、県民の要請に応えた公益的機能の発揮に資するための事業である。
	対象	市内民有林
	手段(活動指標)	新川森林組合が行う施業に対し補助金を交付する。
意図(成果指標)	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 森林整備面積	ha	0.8	0.8	0.8	1.0	125.0%	0.7
	②							
	③							
成果指標	① 施業実施面積合計	ha	18.1	18.1	18.9	19.0	100.5%	20.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	1,322,000	1,320,000	1,545,000	1,526,000	15.6%	837,000
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	1,322,000	1,320,000	1,545,000	1,526,000	15.6%	837,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	326,000	325,400	222,000	222,000	-31.8%	139,000
	② 県支出金	円	701,000	700,600	833,000	821,000	17.2%	454,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	295,000	294,000	490,000	483,000	64.3%	244,000
	収入合計	円	1,322,000	1,320,000	1,545,000	1,526,000	15.6%	837,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	140	140	140	140	0.0%	140
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	588,000	0.0%	588,000
総費用(A+B)	円	1,910,000	1,908,000	2,133,000	2,114,000	10.8%	1,425,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	新川森林組合へ補助金を交付。 枝打 1地区 間伐 1地区 高齢級人工林機能強化 1地区 作業路補修 1件	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価(課長総括)	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である			
				目的の妥当性	1 妥当である				個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である
				対象の妥当性	1 妥当である				個人造林地における森林施業を推進し、森林の持つ公益的機能の維持増進を行う事業であり、妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	計画的に森林施業を実施できている			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない			
				上位施策への貢献度	1 高い	森林施業を計画的かつ適切に実施し、健全な森林を育成が図られるため、貢献度は高い			
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	県単価を使用している			
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に補助しており適正である			
				負担割合の適正化	1 適正である	国、県、市で負担しており適正である			
	1次評価(課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当		2次評価	不要		
	後の方針(評価結果及び今後の方針)	林業経営環境が厳しい現状にあつては、所有者による適切な管理を実施することが困難な状況にある。森林の公益的機能を維持、保全するためにも県単補助事業を活用した施業実施による適正管理を行っていく必要がある。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	県単独林業基盤整備事業		担当部署	課名	農林水産課	
	予算事業名	県単独林業基盤整備事業			係名	農林整備係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1037		
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち			予算科目	一般会計
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興			款	6. 農林水産業費
		施策名	5 林業の振興			項	3. 林業費
基本事業名	5-1 林業生産基盤の整備強化			目	2. 林業振興費		
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	林道の安全な通行の確保及び維持管理労力の軽減を図る。	
	対象	改良、舗装などが必要な林道。	
	手段 (活動指標)	市が管理する林道について、地区からの改修等に関する要望を受け、当事業の要件を満たす場合に県へ採択要望を行い、採択後に工事を実施する。	
	意図 (成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> 林道が安全に通行できる。 林道の維持管理労力が軽減される。 	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 改良等が実施された路線数	路線	3	3	6
成果指標	① 改良等の実施率	%	100	100	100	50	50.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	①需用費	円	130,000	34,000	90,000
②委託料	円							
③工事請負費	円	10,500,000		7,802,000	12,000,000	5,365,440	-31.2%	7,100,000
④負担金補助及び交付金	円							
⑤その他	円	393,000		387,000	397,000		-100.0%	389,000
支出合計(A)		円	11,023,000	8,223,000	12,487,000	5,813,763	-29.3%	7,577,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	5,250,000	3,901,000	6,000,000	2,906,881	-25.5%	3,550,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	105,000	78,000	5,120,000		-100.0%	71,000
	⑤一般財源	円	5,668,000	4,244,000	1,367,000	2,906,882	-31.5%	3,956,000
収入合計		円	11,023,000	8,223,000	12,487,000	5,813,763	-29.3%	7,577,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	2	-60.0%	5
	②年間所要時間	時間	620	620	620	220	-64.5%	620
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,604,000	2,604,000	2,604,000	924,000	-64.5%	2,604,000
総費用(A+B)		円	13,627,000	10,827,000	15,091,000	6,737,763	-37.8%	10,181,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	平成26年度は、6路線について林道の改良工事を計画していたが、7月豪雨以前に発注した3路線については完了し、計画の残り3路線については、事業を平成27年度に繰越した。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	
対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	3 低い・未実施	平成26年7月豪雨により、事業が計画通りに遂行出来なかった。
				類似事業の有無	3 あり	
				上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	
				実施主体の適正化	1 適正である	
				負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の方針 (評価結果及び今)	林業の基盤施設である林道の改良等は、多様な機能を有する森林を守るため不可欠な事業である。要望も多く、県の補助金を受けながら引き続き事業を実施していく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	県営林道事業		担当部署	課名	農林水産課	
	予算事業名	県営林道事業			係名	農林整備係	
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1037		
	事業期間	開始年度	平成元年以前	終了年度	平成26年度	予会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち			款	農林水産業費
	計画	政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興			項	林業費
	根拠法令	施策名	5 林業の振興			目	林業総務費
	基本事業名	5-1 林業生産基盤の整備強化			アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	豊富な森林資源に恵まれた林業圏において、林道網の中核をなす基幹的林道として富山県が整備を行う林道事業に関する地元調整及び市負担金の支払いを行うものである。
	対象	県営林道事業
	手段 (活動指標)	なし
	意図 (成果指標)	県営林道の円滑な整備を推進する。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度 計画
			計画	実績	計画	実績	達成率	
活動指標	① 整備済み路線延長	km	15	15	16	15	96.9%	15
	②							
	③							
成果指標	① 事務進捗率	%	71	71	73	73	100.1%	73
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度 当初予算額
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						5,598,000
	③工事請負費	円						13,300,000
	④負担金補助及び交付金	円	40,800,000	30,590,697	18,400,000	6,772,526	-77.9%	
	⑤その他	円						7,245,000
	支出合計(A)	円	40,800,000	30,590,697	18,400,000	6,772,526	-77.9%	26,143,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円	38,400,000	29,400,000	16,500,000	6,095,274	-79.3%	11,900,000
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	2,400,000	1,190,697	1,900,000	677,252	-43.1%	14,243,000
	収入合計	円	40,800,000	30,590,697	18,400,000	6,772,526	-77.9%	26,143,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33.3%	3
	②年間所要時間	時間	320	320	320	220	-31.3%	320
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,344,000	1,344,000	1,344,000	924,000	-31.3%	1,344,000
	総費用(A+B)	円	42,144,000	31,934,697	19,744,000	7,696,526	-75.9%	27,487,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○富山県が整備を行う林道事業に関する地元調整を行ったり、市負担金の支払いを行った。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	基幹林道の整備のための負担金であり、妥当である。
対象の妥当性					1 妥当である	基幹林道の整備のための負担金であり、妥当である。
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	基幹林道が整備されることによって山村が活性化される。
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はなし
				上位施策への貢献度	2 普通	基幹林道が整備され、山村の活性化に貢献度は高い。
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	魚津市の基幹林道のための負担金であり、妥当である。
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の基幹林道のための負担金であり、妥当である。
				負担割合の適正化	1 適正である	魚津市の基幹林道のための負担金であり、妥当である。
	1次評価 (課長総括)	A	A	現行どおり補助することが適当	2次評価	不要
	後の方針 (評価結果及び今後)	県営林道の整備は、地元の要望により実施されている事業であり、本市の豊富な森林資源の活用や森林の多面的な機能に対する市民ニーズの高まりに応えるためにも継続して事業を行う必要がある。				評価結果

1 基本項目	事務事業名	市単独林道事業		担当 部署	課名	農林水産課		
	予算事業名	市単独林道事業			係名	農林整備係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1037		
	事業期間	開始年度	平成元年以前		終了年度	当面継続	予 算 科 目	一般会計
	総合 計画	目標名	基本目標 1 にぎわい、活力あるまち		款	農林水産業費		
		政策名	3 地域の特性を活かした農林水産業の振興		項	林業費		
		施策名	5 林業の振興		目	林業振興費		
基本事業名	5-1 林業生産基盤の整備強化		アウトソーシング導入状況	導入予定なし				
根拠法令			総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載				

2 事業概要	事業概要	林道の安全な通行の確保及び維持管理労力の軽減を図る。
	対象	小規模な改修や修繕・補修が必要な林道
	手段 (活動指標)	側溝改修 1件、法面改修 3件実施。
	意図 (成果指標)	・ 林道が安全に通行出来る。 ・ 林道の維持管理労力が軽減される。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
			活動指標	① 小規模な改良等が実施された路線数	路線	2	2	2
成果指標	① 小規模な改良等の実施率	%	2	2	2	4	200.0%	2
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
			支出内訳	①需用費	円			
②委託料	円							
③工事請負費	円	1,000,000		957,600	1,000,000	998,956	4.3%	1,000,000
④負担金補助及び交付金	円							
⑤その他	円	500,000			500,000	473,364		500,000
	支出合計 (A)	円	1,500,000	957,600	1,500,000	1,472,320	53.8%	1,500,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	90,000	86,184	90,000	88,000	2.1%	90,000
	⑤一般財源	円	1,410,000	871,416	1,410,000	1,384,320	58.9%	1,410,000
	収入合計	円	1,500,000	957,600	1,500,000	1,472,320	53.8%	1,500,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	2	-60.0%	5
	②年間所要時間	時間	420	420	420	220	-47.6%	420
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,764,000	1,764,000	1,764,000	924,000	-47.6%	1,764,000
	総費用(A+B)	円	3,264,000	2,721,600	3,264,000	2,396,320	-12.0%	3,264,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	2路線について路面改良の工事を実施。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性				1 妥当である			
対象の妥当性				1 妥当である			
有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり			
			類似事業の有無	3 あり			
			上位施策への貢献度	1 高い			
効率性	B	B	コスト効率	2 普通			
			実施主体の適正化	1 適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である			
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の 評価 結果 (課 長 総 括)	林業の基盤施設である林道の改良等は、多様な機能を有する森林を守るため不可欠な事業である。要望も多く、引き続き事業を実施していく必要がある。			評価 結果		